


# バレーボール活動再開に向けた 審判ガイドライン

令和2年7月2日作成（第1版）

公益財団法人日本バレーボール協会  
審判規則委員会



# 目次

- 1 大会等再開時のガイドラインについて
- 2 コロナ対応の基本的な考え方
- 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

# 1 大会等再開時のガイドラインについて

JVAのホームページ「バレーボール競技に関わる大会等再開時の  
ガイドライン」参照

## (1) 活動実施の基本的対応について

「移行期間における都道府県の対応について」（5月25日内閣  
官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長発信）参照

URL [https://corona.go.jp/news/pdf/ikoukikan\\_taiou\\_0525.pdf](https://corona.go.jp/news/pdf/ikoukikan_taiou_0525.pdf)

## (2) 活動再開における基本的な実施判断基準について

各都道府県知事のイベント開催制限の方針に反しない形で・・・  
感染拡大のリスクの低い活動から・・・  
適切な感染防止対策を講じた上で・・・

# 1 大会等再開時のガイドラインについて

## ( 3 ) JVA感染防止対策チェックリスト (主催者・参加者向け)

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/dd1f8497a1b1cfb6b1cac5ca9adadea5.pdf>

## ( 4 ) 大会開催については、JVAの「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に基づいて開催される

## 2 コロナ対応の基本的な考え方

### 1 審判員・インストラクターの大会参加について

(1) 大会実施に際しては、各審判委員会を中心に協力を行う

(2) 審判員・レフェリーインストラクターの安全に留意する

(3) 大会への参加については、以下の手順で行う

主催者（審判委員長等）から「健康チェックシート」等を送付し、審判員としての参加希望調査を実施 別紙「健康チェックシート」参照

審判員は、職場・家族等関係する方々の状況を確認の上、回答する

日常から健康チェックシート（自己管理用）を活用し、自身の体調管理を行う。

主催者が「健康チェックシート」の提出を求めた場合、応じることができるよう準備

(4) 主催者が示した感染予防対策を遵守する

## 2 コロナ対応の基本的な考え方

- 2 講習会開催等について（各審判委員会が主催・主管となる）
  - （1）受講者の安全が判断の最優先に講習会を計画する
  - （2）講習会の実施に際しては、開催地協会と連携し感染予防対策について受講者に明確に提示すること
    - 別紙「講習会開催におけるチェックリスト例」参照
  - （3）講習会への受講者の集約についても、大会同様の手順で行う
    - 不参加における不利益が生じないように配慮する
  - （4）参加希望状況により最終的に開催可否を判断する
    - 開催地（都道府県及びブロック等）の実情に合わせて独自講習会の開催も同様とする
  - （5）主催者が示した感染予防対策を遵守する

### 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

【今までの基本的な考え方をもとにした主な留意事項の例】

#### 大会参加時の留意事項

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

- ・ 体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

こまめな手洗い・うがい、アルコール等による手指消毒を行う。

他の参加者との距離（できるだけ2m以上）を確保する。



### 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

#### 大会参加時の留意事項

##### マスクを持参する

- ・移動時等はマスクを着用する。
- ・会場では、試合中以外はマスクを原則着用する。
- ・マスクを取る場合は、特に他の参加者等との距離（できるだけ2m以上）を確保し、大きな声や対面での会話等を行わない。
- ・ミーティングは距離を保ち、短時間で行う。

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者及び審判規則委員会に速やかに報告し対応についての指示を受ける。

厚労省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（cocoa）を利用する



### 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

#### 競技中の留意事項

##### 【主副審】

試合前後に監督・選手との握手は行わない。またトスは、選手との距離を保ち、短時間ですませる。

スコアラー、他の役員及びチームメンバーとも十分距離を保ち、会話をする場合は、大きな声や対面にならないように配慮する。

主催者の意向で、電子ホイッスル等で試合を進めてもよい。

笛を使用する場合は、会場や環境に合わせた音の大きさを吹笛を短くするように心掛ける。その際、試合の前後及び試合中（タイムアウト・セット間等）に除菌シート等を活用し洗浄・消毒等を行う。

### 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

#### 競技中の留意事項

##### 【スコアラー・アシスタントスコアラー】

会話をすることがあるので、できる限りマスクを着用する。

大きな声や対面での会話は控える。

共用物品（ボールペン等）の使用はできるだけ避ける。サイン採取時は、専用ペンや消毒用アルコールを準備する等の工夫をする。

##### 【ラインジャッジ】

会話をすることないので、マスクの着用は特に必要としない。

体を動かすことがあるため、熱中症予防の観点からフラッグは、試合前後に消毒を行う。

## 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

### 競技中の留意事項

#### 【コートオフィシャル】

大会に応じて、密を避けるために人数を減らしたり、役割を限定するなど、柔軟に対応する。コートオフィシャルを設定する場合は、以下の点に留意する。

会話をすることないので、マスクの着用は特に必要としない。

体を動かすことがあるため、熱中症予防の観点から  
試合中、衛生用手袋（使い捨て）を着用してもよい。  
ボールやタオルを触った手で、眼・鼻・口等を触らない。  
試合終了後は手洗い・うがいを徹底する。

### 3 審判規則委員会としてのコロナ対応

#### 競技中の留意事項

##### 【その他】

ベンチや記録席などの試合会場のレイアウトは、密な環境を避けるために変更をしてもよい。

ex. ウォームアップエリアを広げる、ベンチを2列にする 等

タオルや水ボトル等は共用をしない

コートオフィシャルの人数に余裕がある場合は、1セットごとに交代をしながら行うなどの配慮をする。

審判の感染対策責任者は、控室等に遵守すべきチェック事項を掲示するなど、感染拡大防止の環境整備を行う。

### 3 審判規則委員会としてのコロナ対応 (チェックシート・リスト)

大会・講習会参加時に先述の主な留意事項を踏まえ、以下の様式例を参考に、地域の実用に応じて修正・変更を加え作成し活用することで、参加者の安全を優先に考え、審判活動を行う。

- |       |                      |             |
|-------|----------------------|-------------|
| 1 - 1 | 健康チェックシート（自己管理用）     | 別添エクセル黄色シート |
| 1 - 2 | 健康チェックシート（提出用）       | 別添エクセル赤色シート |
| 2     | 審判関係大会参加におけるチェックリスト例 | 別添エクセル青色シート |
| 3     | 講習会開催におけるチェックリスト例    | 別添エクセル緑色シート |